

# 音読・要約を核にしたシステム英語指導法の提案—「名人教師」の分析をもとにして—

一般科目 教授 安木真一

電子メール yasugi@tsuyama-ct.ac.jp

## 研究の動機

受験指導とコミュニケーション能力の指導の両立に多くの高校教員が苦慮している。また新指導要領では「英語の授業を英語で」実施する事が求められている。この現状を打破するための指導法を確立したい。

## 研究の目標

受験指導とコミュニケーション能力の指導を両立している高等学校における「名人英語教師」の指導法の中で、音読指導と要約指導に着目し、両者を両立する指導法を確立する

従来の教育実践と本研究に基づく実践の違い

従来の実践

他の実践 → 模倣 → 実施 → うまくいかない場合が多い

本研究に基づく実践

名人技検証 → 実証研究と比較検証 → 方法提示 → 実践 → 検証 → 方法提示 → 成功可能性が高い

高校英語教育における名人教師3名に対して、授業見学、面接調査などを行い、先行研究と比較する。先行研究で分析できないものは新たな実験により実証データを出しそれを元に比較する。更に自ら実践し問題点を見つける。これを元に指導のモデルを提示する。

## 主な著書(単著)

